

遠賀町内中小企業景況調査

(令和6年7月-9月期)

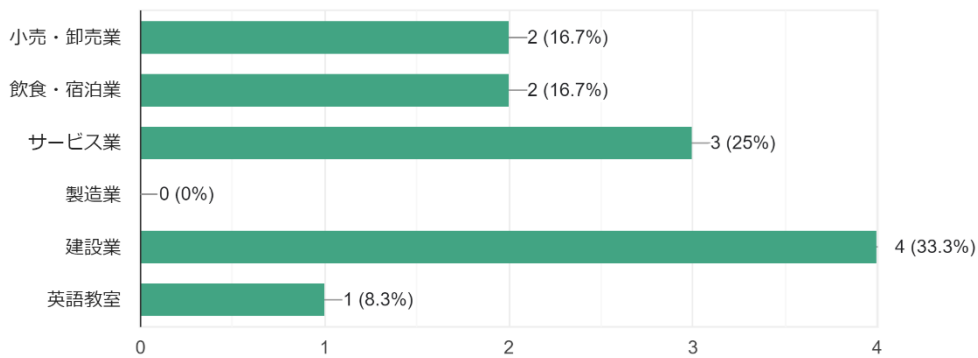
調査：遠賀町商工会

〔調査要領〕

- ①調査方法 遠賀町商工会 LINE 公式アカウントによる WEB 回答
- ②調査対象 遠賀町商工会会員事業所
- ③調査時点 令和6年10月1日

1. 貴事業所の業種を教えてください

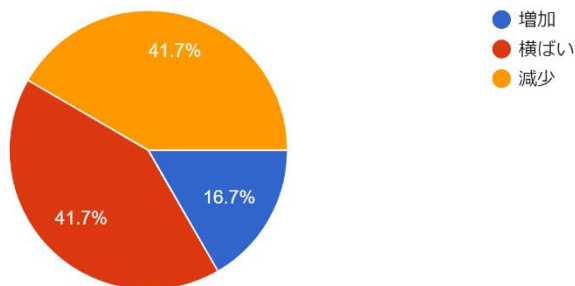
12件の回答



今回のアンケートの回答は、約7割が商業・サービス業で占められており、次いで建設業が約3割となっている。

2. 現在の貴事業所の売上傾向についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

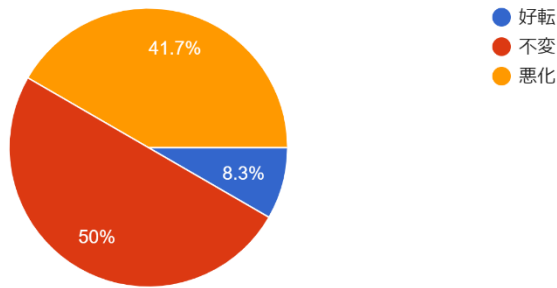
12件の回答



第2四半期に比べて減少の割合がやや上昇している。今回の回答企業に建設業が多いことを勘案すると、働き方改革関連法による時間外労働の上限規制の導入等の影響が考えられる。

3. 現在の貴事業所の利益状況（所得）について...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

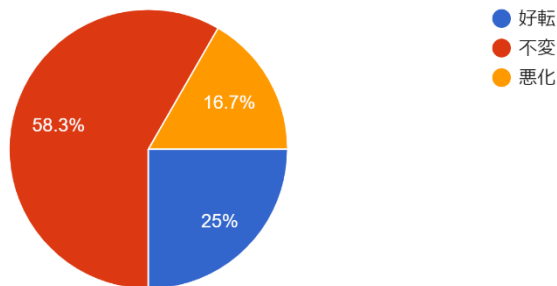
12件の回答



利益の状況についても売上の現状と同様の傾向が見て取れ、その要因として長時間労働の是正によるコストの増加等の影響が考えられる。

4. 現在の貴事業所の資金繰りの状況についてお...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

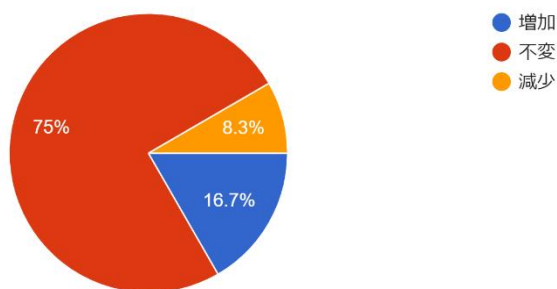
12件の回答



資金繰りについても第2四半期に比べて悪化傾向が見られるが、飲食・小売り業で価格転嫁が進まず、キャッシュを圧迫していることがひとつの要因として考えられる。

5. 現在の従業員数についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

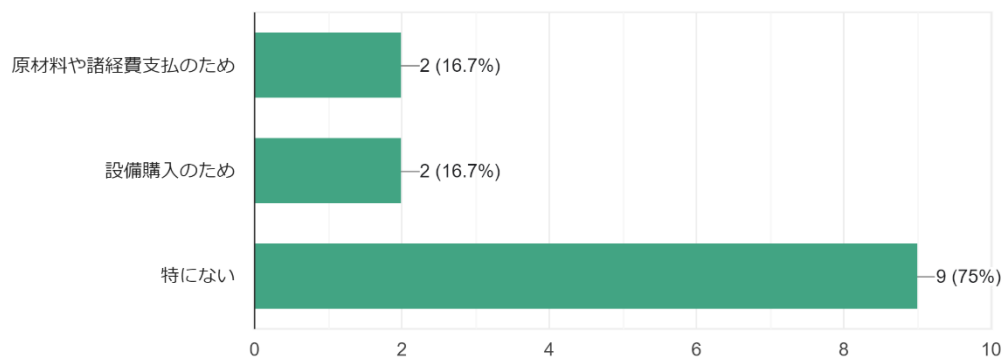
12件の回答



従業員数についても、引き続き不変と減少の割合が高く、人手不足ではあるものの、先行き不透明感から雇用を増やせない状況が見て取れる。

5. 現在、資金調達をする必要はありますか（複数回答可）

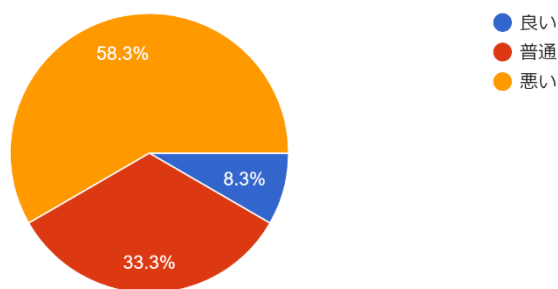
12件の回答



新たな資金調達については、第2四半期同様に「特にない」という回答が圧倒的に多い。これは、足下の経済環境に鑑みれば、積極的投資に向かうだけの好材料を見いだせないことの表れと言える。

6. 景況感について教えてください現在の景気をどう感じますか

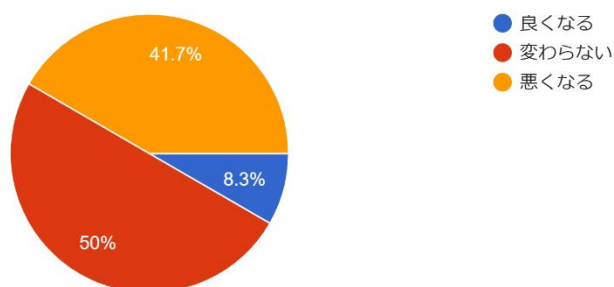
12件の回答



景況感は、第2四半期に比べて若干の改善が見られるものの、トレンドとしては未だに“悪い”が全体の約6割を占めている。ただ、ここに来て、社会全体に景気の底打ち傾向が見え始めていることが今回の回答にも反映されているものと思われる。

7. 景況感について教えてください今後の景気の見通しをどう予測しますか

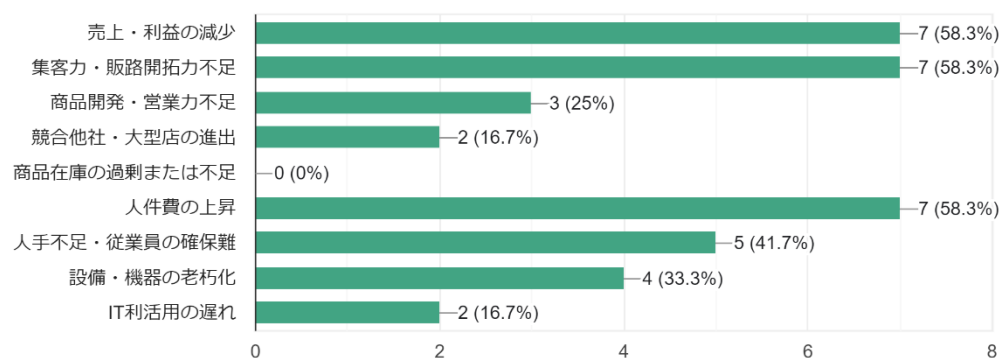
12件の回答



今後の景気の見通しは、景気が底を打って回復に向かう前段階の状況を示しており、今後の経済動向や国の経済政策如何で必ずしも回復基調に転じるとまでは言えない状況である。

8. 現在の貴事業所において、次の問題点・課題の中に該当するものがありますか（複数回答可）

12件の回答



今回は、課題として、「売上・利益の減少」「集客力・販路開拓力の不足」と並んで「人件費の上昇」が回答企業の約6割を占めている。これは、裏を返せば、人件費の上昇を吸収できるだけの価格転嫁が思うように進んでいないことの表れとも考えられる。

※大企業と中小・小規模企業の間で価格転嫁の実現可能性に差があることに加え、大企業におけるDX化の進展により情報格差が拡大している。今後は、中小・小規模企業も業務のデジタル化からスタートして全社ベースでDX化に取り組める体制を整備しないと生き残れない状況になりつつある。